



# 職員室だより

富津市立竹岡保育所

2024.9.12発行

今年は今までにない暑さでしたが、子ども達は暑さに負けることなく、元気に過ごすことができました。竹岡の子ども達は、給食をよく食べます。そして、よく遊びます。よく食べ、よく遊び、よく寝るという“子どもらしい生活”が元気にしてくれているのかもしれません。

例年以上に熱中症予防対策を取りながらの夏でしたが、たくさんの活動を楽しむことができましたので、子ども達のニコニコ笑顔の写真と共に伝えたいと思います。



## 【7月】

今年も石原さんのご協力で、2日に田んぼでの田植えをさせていただきました。3年目になり、子ども達も職員もだいぶ慣れてきました。田んぼに素足で入ることに抵抗がなく、むしろ泥んこになることを楽しんでいます。泥まみれになることに抵抗がない・・・昔は当たり前だったかもしれませんが、今は違う時代になってきています。竹岡の子ども達は常に自然に囲まれた生活をしているからか、楽しむことができます。また、どろんこ遊びに対して、おうちの方のご理解、ご協力があるからできることでもあります。せっかくの恵まれた自然環境です。これを十分に活かし、感性豊かになってほしいと思います。



田植えの翌日3日には、中央保育所のお友達と一緒に君津亀山青少年自然の家へ行きました。七夕にちなみ、プラネタリウムで星空を見たり、自然の家周辺の自然散策を楽しんだりしました。毎月のように交流保育をしているおかげで、すっかりお友達になり、バスの中では恒例のゲームで盛り上がっています。竹岡地区だけに限らず、天羽地区にお友達が増えていくこと、嬉しいですね。



7月の第1週は大忙し。5日には、竹岡保育所恒例となった“夏祭り”がありました。今年は、金谷保育所のお友達も参加してくれたので、今まで以上に賑やかになりました。また、竹岡地区のお祭りには獅子舞が登場することを聞いたので、保育所でも“段ボール製の獅子舞”を作りました。当日は、保護者の方や地域の方がたくさん応援してくださったので、子ども達は元気にお神輿を担ぐことができました。事前のポスター掲示にご協力頂いた三十郎商店様、竹岡郵便局様、久治製パン白井様、ありがとうございました。白井さんには、当日、休憩場所としてもご協力頂きました。

こうして保育所行事を無事に行えるのも、地域の皆様のご協力あってのことです。園児が少なくなっていますが、今後ご協力頂けますようお願い申し上げます。



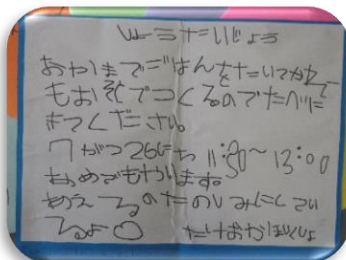
夕方は、おうちの方と一緒に縁日を楽しみました。浴衣や甚平に着替え、ヨーヨー釣りや宝探し、お菓子のつかみ取りなど、子ども達がやりたかったものを計画しました。また、7日の七夕が日曜日のため、笹飾りも持ち帰りました。この笹は、畑の先生の込宮さんにご協力頂き、子ども達が取りに行かせてもらっています。ありがとうございました。



9日には、中央保育所を会場に、みなと幼稚園の年長さんも一緒に交流しました。予定では、天羽小のプールで一緒に遊ぶことになっていたのですが、熱中症警戒アラート発令のため、学校のプールが使用できませんでした。せっかくの機会なので、室内でリズムをしたりお部屋で遊んだりして楽しみました。これからも天羽地区の保育所・幼稚園交流として行っていく予定です。



26日は、月に一度のお米の日。7月は、お米を羽釜で炊くだけでなく、保育所の畑で収穫した夏野菜や、飯田さんの畑で収穫させていただいたじゃがいもを使って、カレーも作りました。年齢によって、野菜を洗う担当、皮むき担当、切る担当と仕事分担をしています。そして、この日は、“カレーパーティー”として、お世話になった方や1年生を招待して、ごちそうしました。カレーパーティーの招待状は、年長の伍桔君が書いてくれました。夏祭りのポスター作りや招待状作りと、大忙しだった伍桔君ですが、さすが年長さん！一生懸命書く姿が、とても頼もしかったです。



お米研ぎやカレー作りも無事に終わり、あとは出来上がりを待つだけ・・・というタイミングで招待したお客さんが到着。1年生の大晴君、孝亮君との久々の再会に嬉しいやら恥ずかしいやら・・・といった様子でした。畑の先生の込宮さんや飯田さん、看板作りを手伝ってくれた小川用務員さんも来てくれ、大勢のお客さんと一緒にカレーパーティーを楽しむことができました。1年生からは、「やっぱり、保育所の給食はおいしい♪」と嬉しい言葉があり、招待したお客さんはおかわりをしてくれ、『たけおかレストラン』のカレーは大人気でした！



夏真っ盛りの7月、8月は磯遊びだけでなく、海水浴や金谷海浜公園プールにも行きました。園庭でも、テントの下やテラスでプール遊びを行い、夏ならではの活動を満喫することができました。金谷海浜公園プールには、中央保育所のお友達と一緒にいき、現地で金谷保育所のお友達とも合流し、天羽地区3園での交流を楽しみました。日頃、少人数で過ごしていますが、交流保育を行うことで、たくさんのお友達ができています。子ども同士すぐに仲良くなるので、次に一緒に遊べる機会をととても楽しみにしています。



## 【8月】

6日に年中の優輝君のお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんのご協力で、なんと、クルージングと釣りを楽しむことができました！優輝君のおじいちゃんは、漁業をされており、舟があります。その舟に子ども達を乗せてあげたいと、大変ありがたい相談があり、事前に下見をさせていただき、安全面をお互いに確認したうえで実施させてもらいました。また、「釣りをしてみたい」という子ども達の要望にも応えて下さり、保育所で作った手作りの釣り竿で釣り体験もさせてもらいました。釣果は・・・(笑) 舟を降りてから、優輝君のお母さんが用意してくださった海の生き物クッキーで釣りをさせてもらいました。未満児クラスは、「お～い、ばいば～い」と陸から手を振ったり、釣り遊びをしたりと保育所みんなで楽しむことができました。

漁港が近くにある保育所ならではの活動で、また、私達保育士だけではできないことです。子ども達にとっても、大変、貴重な経験となりました。ありがとうございました。

※6 ページにドキュメンテーションがありますので、そちらもご覧下さい。



19日には、木更津市にある清和大学短期大学部の学生と専任講師がゼミの学習として、半日子ども達と過ごしました。竹岡保育所が自然環境保育認証を受け、自然を活かした活動をどう行っているかを知りたいという依頼でしたので、一緒に磯遊びに行きました。同短期大学部から、保育ボランティアの学生も来てくれていたので、子ども達はたくさんのお姉さん、お兄さんと遊ぶことができました。また、7月～9月にかけて、お茶の水女子大学の学生も、自然環境保育認証制度や竹岡保育所の保育について知りたいと数回、保育所に来てくれています。

竹岡保育所の保育が、保護者の方、地域の方だけでなく、こうして学生にも興味、関心を持ってもらえていることはとても嬉しいです。そして、学生皆さんが「地域の方の協力がすごい！」と驚いていました。本当にその通りで、竹岡保育所の大きな自慢です！

改めて、地域の皆さんに感謝申し上げます。



29日は、台風の接近もありましたので、保育所のバケツ稲の稲刈りを行いました。種まきを親子でやったので、せっかくなら稲刈りも親子でしてもらおうと思い、登降所の時間を使って行いました。初めて経験するおうちの方も多く、この後の脱穀、粃摺りなども一緒にやっていきたいと思います。



## 【畑の様子】

耕運機が導入されたので、少し畑を広げました。また、畑の先生の込宮さんや保護者の方から、たくさんの野菜の苗を頂き、今年も竹岡保育所の夏野菜は豊作でした。オクラやミニトマトは、毎日のように、給食の彩りになっています。たくさん収穫できたものがある反面、うまく生長しなかったものもあります。職員も、込宮さんに教えていただいたり、本を見たりと試行錯誤の日々です。

一時期、サルに食べられるという事件も発生し、共存の難しさも感じました。明日、収穫できるかなというタイミングの物を取られてしまい、子ども達はもちろん、職員もショックが大きく、どうしたら取られないか、いろいろ考えました。人工物をつけたらどうか？ときゅうりを星形にするプラスチックの型をつけてから、来なくなりました。たまたまなのかもしれませんが、一安心しているところです。スイカは、途中で割れてしまったものもありましたが、スイカ割りで使うことができました。



自然相手の物は、こちらが思うようにはいきません。それを肌で感じることで、いろいろ考える機会になっていると思います。5月に卵から生まれたたくさんのカマキリの赤ちゃん。最終的には、1匹だけになってしまいましたが、子ども達は生きている餌(アブラムシや小さなバッタ)を与え、育てていました。ほんの1cmほどの赤ちゃんから7cmぐらいまで成長したのですが、残念ながら死んでしまいました。子ども達は、自然と食物連鎖の仕組みを知り、生と死があることを学んでいます。あまりの暑さで金魚やカメも死んでしまい、その度に子ども達と話し合うようにしてきました。“自然”は、子ども達はもちろん、私達大人にも様々な気づきを与えてくれます。その気づきが無駄にすることなく、なんでだろう？という好奇心や、やってみようと思う意欲に繋げていきたいと思います。



涼しくなってきたら、あちこちに散歩に出かけたいと思います。保育所の子ども達を見かけましたら、遠慮なく声をかけてくださいね。そして、おすすめの場所等ありましたら、ぜひとも教えてください。

また、10月12日(土)に『竹岡保育所フェスティバル』を予定しています。今年はどんなフェスティバルになるでしょうか？楽しみにしていてくださいね。

